



携帯電話用
QRコード

- 主な内容
- 2面 サマースクールin日大三が開催されました
小学校給食調理業務委託を導入します
 - 3面 わがまち学校たんけん隊!
 - 4面 絵図でみる町田 -Part3-
尾辻克彦×赤瀬川原平 -文学と美術の多面体-展

発行:町田市教育委員会 編集:学校教育課 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

町田っ子の学力向上に向けて取り組んでいます!

すべての子どもの学びを支える～「できる」、「わかる」授業のために～

全国学力・学習状況調査の結果、町田市の子どもは、基礎・基本的な問題の正答率が高く、**基礎・基本＝「できる学力」**については概ね定着している一方で、活用・応用問題について正答率が低いことがわかりました。町田市立小・中学校では、活用・応用問題を解答するのに必要な**思考力・判断力・表現力＝「わかる学力」**を高める授業に取り組み、「できる学力」と「わかる学力」をバランスよく身に付けた子どもの育成に取り組んでいます。

できる学力
基礎・基本

わかる学力
思考力
判断力
表現力



「できる学力」と「わかる学力」をバランスよく身に付けることが学力向上のカギなのじゃ!

問い合わせ 指導課 ☎724・2154

町田っ子の今

- 1 問題の解き方を覚え
ドリル学習・テスト勉強を頑張ってきた
- 2 基礎・基本はできるようになってきた
- 3 自分の考えをまとめて表現したりいくつかの考えを結び付けて考え問題を解いたりすることが苦手
- 4 新たな山を目指して取り組みます

町田市の挑戦!

挑戦1
「わかる学力」向上のための授業に取り組みます!

子どもたちが互いの思いや考えについて話し合い、多様な考えに気付くような授業を行うことによって、思考力・判断力・表現力＝「わかる学力」を高めます。現在、小・中学校合わせて4校で「わかる学力」を高めるための取組として「協同的探究学習」を実践しています。今後はこの4校で取り組んだ成果を小・中学校全校に広めていきます。



自分自身の知識や他者の知識を利用しながら考えを構成していくことや、その思考プロセスを表現し他者と共有して理解を深めることが「協同的探究学習」です。

町田市学力向上推進委員会 顧問
東京大学大学院 藤村 宣之 教授

「わかる学力」を高める授業のポイント

- 1 自分の思いや考えをもち、説明できるようにします
自分の知識や経験を生かして問題に取り組む時間を大切にします。解き方をノートに書いたり、発表したりして、考えを深めていきます。
- 2 友達との話し合いを通して、考えを広げます
話し合いを通して、多様な考え方があることを理解し、似ている解き方はどれとどれかなど、自分の考えと周りの子の考えを関連付けて考える力を身に付けていきます。
- 3 学習内容を定着させ、理解を深めます
多様な考え方の中から自分がよいと思ったものを選択したり、複数の考え方を統合して新しい考え方を見付けたりして、もう1問新しい問題に取り組みます。

挑戦2
地域ごとに学力の課題解決に取り組みます!

全国学力・学習状況調査の結果では、地域ごとに異なる学力上の課題があることもわかりました。町田市では、地域ごとの課題を解決するために、小・中学校全校を20地区に分けて、地区ごとに小・中学校が連携して学力向上に向けた取組を実施しています。これらの地区のうち、5地区を「学力向上モデル地区」とし、民間教育機関と連携して学力調査を行い、調査結果から分かった課題を解決するための取組を実施しています。このモデル地区の取組を参考に、今後は、他の地区の取組を充実させていきます。

目指す町田っ子の姿

- ま 周りの子の考えと自分の考えを関連付けられる
- ち 知識や経験を生かして問題に取り組める
- だ 誰にでも分かるように説明できる



家庭でもできる「わかる学力」の伸ばし方

- 学校のこと、友達のことを話題にして、お子さんと会話しましょう。
日常会話を通して、お子さんの表現力を伸ばしましょう。「どうして?」「詳しく教えて」と、よい聞き手になって対応してください。
- 読書に親しませ、考える力を育てましょう。
読書は、思考や表現の語彙を増やし、考えを広げ深めます。お子さんと一緒に図書館や書店に出かけ、一緒に本を選んでみるのもいいでしょう。
- テレビを見る時間、ゲームで遊ぶ時間、携帯電話を使う時間を決めましょう。
充実した生活を送るために、計画的な時間の使い方を身に付けさせましょう。
- お子さんのよい点を1日1つ見付けてほめてあげましょう。
認められる喜びを味わっている子どもは、自分に自信をもつことができます。お子さんが自分の考えを話せたとき、約束を守ったとき、ほめてあげてください。家族からのほめ言葉が、1番の活力剤になります。

学力向上に関するイベントの情報は2面をご覧ください。

町田市学力向上推進事業

イベントのご案内

保護者・市民の方々の多くの
ご参加をお待ちしています。

町田市教育講演会

「学力を高めるための学校・家庭・地域の連携」

- 2014年10月18日(土)午前10時～11時30分
- 町田市民フォーラム
- 帝京大学大学院 向山行雄教授

町田っ子の学力向上のために、学校・家庭・地域がどのように力を合わせて、どのように役割分担していくべきなのでしょう。学校経営・教育行政の経験が豊富な講師が解き明かします。

お近くの学校を通じてお申し込みください。

町田市

学力向上フォーラム

- 2015年5月14日(木)午後2時開始
- 町田市民ホール

2015年3月策定予定の「町田市学力向上推進プラン」を発表します。町田市立小・中学校が挑戦する「わかる学力」を高める授業や、地区ごとの課題に応じて小中が連携した学力向上の取組について説明します。

【主なプログラム】

- ・「町田市学力向上推進プラン」について
- ・学力向上推進パイロット校の取組
- ・学力向上モデル地区の取組
- ・家庭学習の手引き
- ・東京大学大学院教育学研究科 藤村宣之教授による講演

問い合わせ
指導課 ☎724・2867

みんなで一緒に学んだ夏休み

第2回 忠生・小山田地区小学校交流会

サマースクールin日大三

忠生・小山田地区の小学校交流会「サマースクールin日大三」が、7月25日(金)、8月26日(火)の2日間わたって開催されました。

この事業は、忠生・小山田地区の市立小学校に通う児童が、日本大学第三中学校・高等学校(以下、日大三)に集い、教科・スポーツの各講座を通して交流を深めるものです。会の運営は日大三によって行われ、日大三の生徒たちが児童の活動をサポートしています。

今年も、2日間で7校の4～6年生281名の児童が参加しました。



いのちを守ったチームワークに感謝状

小山ヶ丘小学校

この度、小山ヶ丘小学校が校内での救護活動に対し、東京消防庁から感謝状を贈呈されました。

問した深瀬八郎町田消防署長から、学校へ感謝状が手渡されました。

7月、同校で授業中に児童が心臓発作を起こし、心肺停止状態に陥る事態が発生しました。その際、室屋憲一校長の指揮の下、教職員によって連携した救護活動が迅速に行われ、児童の命を守ることができました。



▲救護活動にチームワークを発揮した小山ヶ丘小学校教職員(中央は、深瀬町田消防署長)

小学校

給食調理業務委託を導入します



これまで同様、安全・安心・おいしい給食を子どもたちへ委託の導入により、調理を行う者は市職員から民間事業者に変わりますが、調理はこれまで同様に各学校の給食室で行います。

また、献立の作成や食材の調達なども、これまで通り学校の栄養士が行い、食育として取り入れている行事食の実施や、食物アレルギーへの対応も引き続き取り組んでいきます。

今後とも安全で安心な給食を提供していきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

2015年度 調理業務委託導入校
 町田第三小学校
 町田第六小学校
 南第四小学校
 鶴川第四小学校
 小山田小学校
 木曾境川小学校

※保護者を対象とした説明会を各学校で開催しています

問い合わせ
 保健給食課
 ☎724・2177

☆小学校調理業務委託の情報は、町田市ホームページからもご覧いただけます。

児童精神科医による 保護者向け講演会のお知らせ

東京えびすさまクリニック 院長の山登敬之先生をお迎えし、「発達障害と子どものメンタルヘルス」というテーマで、保護者の方向けの講演会を開催します。

日時：11月13日(木) 午前10時～12時

場所：町田市教育センター

対象：町田市内にお住まいで、小・中学生のお子さんをおもちの保護者の方

申し込み方法：往復ハガキに住所・氏名・電話番号・お子さんの学年と性別を明記し、10月24日(金)まで(消印有効)に教育センター教育相談講演会担当(〒194-0036 木曾東3-1-3)へ。

定員：80名(応募者多数の場合抽選)

問い合わせ
 教育センター
 ☎792・6546

家庭教育支援事業にぜひご参加ください!

生涯学習センターでは、保護者の方を対象に、家庭教育の教育力向上につながる知識や技術を身に付けたり、保護者同士の仲間づくりができるよう、子育てや家庭教育に関する学習する機会を提供しています。

また、地域ぐるみでの子育て・家庭教育支援につながるよう、その担い手となる

生涯学習センター
☎728・0071

お母さん、お父さんの学びと交流の場です

幼い子どもと暮らす親と子の交流ひろば「きしゃポッポ」「パパと一緒にきしゃポッポ」

「きしゃポッポ」は、一緒に参加するお母さんや保育士と育児の悩みやヒントを共有できるひろばです。

子どもとの手遊び・スキンシップ遊び、絵本の読み聞かせ、テーマに沿ったグループトークなどを、みなさんで行います。

また、月1回、お父さんが主役の「パパと一緒にきしゃポッポ(通称：パパきしゃ)」も行っていきます。



予約は不要です。お父さん、お母さん同士交流しませんか。

家庭教育講座

乳幼児から中学生までの保護者を対象に、子どもの年齢に応じて生じる家庭教育に関する様々な課題を解消するための各種講座を開催しています。今年度は10月以降、各種講座を開催していく予定です。



講座情報は、「広報まちだ」や町田市ホームページにも掲載します。

地域の子育て・家庭教育支援の担い手を育てます

家庭教育支援学級

地域の子育て・家庭教育支援の担い手となるために学習をする5名以上のグループに対し、会場の提供、学習中の保育、講師謝礼の助成などの支援を行っています。来年度は、4月頃に参加グループを募集する予定です。

成瀬中央小学校の教育

～子供の夢を大切に、未来に向かって羽ばたく、子供が主役の成瀬中央小学校～

成瀬中央小学校は、閑静な住宅地に位置し、今年度、学校教育に協力的な保護者、地域の皆様方に支えられて、創立36年目を迎えます。昨年度は、創立35周年を記念して児童が考えたハートのマークの航空写真を撮影し、下敷きを作成して全児童等に配布しました。



▲創立35周年記念航空写真

(1) 研究推進校の取組 (算数科)

今年度「町田市教育委員会研究推進校」として算数科を中心に、研究テーマを「自ら考え、進んで課題を解決しようとする児童の育成」として、2年間、校内研究に取り組むことになりました。町田市教育プランでは「確かな学力の定着」が求められています。本校では「できる学力」の向上策として授業はもとより①朝学習(基礎学習タイム)②夏季休業中の算数教室に取り組んでいます。さらに「わかる学力」の向上に対しては、講師を招聘しての研究授業の取組や町田市教育委員会指導主事による講演会等を実施し、児童の学力向上と算数科における授業力や指導力の向上に努めています。



▲全校ミニ音楽会

(2) 全校ミニ音楽会

道徳授業地区公開講座の日に、1年生から6年生までの全児童が体育館に集まり、多数の保護者、地域の皆様方の前で学年ごとに美しい合唱や合奏を披露しています。手話を取り入れた合唱や独唱があったり、リコーダー等、子どもたちの頑張りによる大きな拍手が絶えません。

(3) 高学年マラソン大会

今年で10回目を迎える秋の体力向上を目指した取組です。5年生と6年生が校舎の周りを力走します。

1年生や2年生、さらに保護者の皆さんの大きな声援にパワーをもらいながら全員が完走しています。



▲高学年マラソン大会

成瀬中央小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-narusechuo/>

金井小学校の教育

～挨拶と笑顔のあふれる学校をめざして～

本校は今年度、教育目標「あたたかく かしこく たくましく」のうち「あたたかく」を重点目標としています。また、目指す学校像は、「一人一人の子供の主体性と自律性をはぐくむ学校」「一人一人の子供の自己有用感と自己肯定感を高める学校」です。本校の取組を紹介します。



▲きょうだい学級で企画運営する子どもまつり

(1) 縦割り班活動の充実

現在18学級、特別支援2学級の全児童632名が、きょうだい学級を組織し、縦割り班活動を行っています。その最大の祭典が子どもまつりです。上学年と下学年でペアとなり、企画運営を行っています。

(2) 朝の挨拶運動

代表委員会の子どもたちが、学校生活をよりよくすることを考え、話し合った結果の行動です。代表委員会の活動日は月水金でした。それを聞いた6年生が火木の挨拶運動を始めました。毎朝、元気のよい挨拶が響いています。



▲教科書に載っている作者の本の紹介コーナー

(3) 読書活動の充実

保護者の方による読み聞かせをはじめ、司書教諭と3名の図書指導員が連携し図書館の充実に努めています。廊下には、教科書に載っている作者の本やお勧めの本を並べるなど、子どもたちが本に親しみやすい環境を創っています。

(4) 全学級が取り組む校内研究授業

「分かった！」の声とともに見せる子どもたちの笑顔は、何にも代えがたい喜びを感じさせます。笑顔に満ちた授業で、子どもたちを包み込みたい。その願いの元、今年度から全20学級が研究授業を行うことになりました。全学級の授業の質の向上を目指しています。



▲全学級が取り組む校内研究授業

金井小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-kanai/>



わがまち学校たんけん隊!

小山中央小学校の教育

～ひとりできないことを、みんなで～

小山ヶ丘小学校と小山小学校の子どもたちが集まり、本校が開校して5年目。児童数は877名と市内最大の学校になりました。よりよい学校づくりのため、保護者の皆様や地域の方々の幅広い御支援をいただきました。例えば、雑木林ボランティアの皆様には隣接する雑木林を整備して、通り道やハンモックなどを準備していただいたばかりか、全校朝会で野草や木の実について説明していただきました。豊かな自然体験は学校目標の「元気な子」に結びつきます。また本校には高学年がリーダーとなって、低学年と一緒に遊んだり工作をしたりする「なかよし班活動」もあります。学年の枠を超えて一緒に活動することで楽しみながら、学校目標の「思いやりのある子」を育てていきます。



▲雑木林の6年生と1年生

校内研究も学校の柱の1つです。学び合う子どもを育てるために、まず大人が学び合います。今年度は町田市



▲なかよし班ロング集会

研究推進校として国語の研究を進め、全学年で研究授業を行います。学校目標「考える子」に向けての取組です。

本校には、オープンスペース教室や太陽光発電、プールの温水シャワーなど最新の設備が備えられています。素晴らしい設備をより活用していくためにも、地域の皆様の御支援をいただきながら、一層努力して参ります。「ひとりできないことを、みんなで」作り上げていく小山中央小学校です。



▲全校朝会で雑木林のお話をうかがう

小山中央小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-oyamachuo/>

小山田中学校の教育

～目指せ頂上 無限の可能性～

小山田桜台団地の中にある本校は、今年度創立30周年を迎えました。春には街路樹の八重桜が見事な花を咲かせ、校庭の南側には尾根緑道の新緑が広がり、ウグイスやコジュケイの鳴き声が聞こえてきます。このような自然に恵まれた環境の中で、子どもたちは明るく、穏やかな学校生活を送っています。



▲春の校門と八重桜

30周年事業の1つとして、学校のスローガンやシンボルマークを生徒会が中心となって決めました。スローガンは「目指せ頂上 無限の可能性」です。小山田中学校では、子どもたちの「無限の可能性」を伸ばすため、次のような教育活動を推進しています。

○確かな学力の育成

毎日の授業での様々な取組を通じて、確かな学力の育成を図っています。近隣の小山田小学校・小山田南小学校とともに「学力向上モデル地区」の指定を受け、小中9年間で子どもを育てるという視点に立ち、合同研修を積極的に行い、授業力向上を図っています。



▲朝学習でのOVRによる学習支援

○家庭・地域との協働体制の確立

保護者OBや卒業生などで構成する「小山田中地域応援団(OVR)」の協力を得て、基礎学力の定着を目指しています。「朝学習」での学習支援の取組は2009年度にスタート。2012年度からは「土曜ゆびとま学習教室」を開設し、子どもたちの自主学習の支援を行っています。

「青少年健全育成小山田地区委員会」の方々や、「三校合同避難施設関係者連絡会」での町内会の方々との連携も年々深まりを増してきました。地域の学校として、これからも家庭・地域と連携した教育活動を推進していきます。



▲オリンパスホール八王子での合唱祭

小山田中学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/j-oyamada/>

自由民権資料館 「絵図でみる町田 - Part 3 -」

2014年度第2回企画展
【日 時】10月11日(土) ~ 11月30日(日) 午前9時~午後4時30分
【休館日】毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌日) **入館無料**



自由民権資料館では、2010・2012年の「絵図でみる町田 - Part 1・2 -」に引き続き、第3弾を開催します。今回は、忠生地区・堺地区にスポットをあてます。具体的には、木曾・根岸・函師・上小山田・下小山田・山崎・小山・相原です。今回も2012年度に町田市指定有形文化財に登録された絵図「南多摩郡各町村縮図」(1886年・明治19年作成)を中心に、江戸時代から現代に至る町田市域の移りかわりを絵図・地図・写真や関連史料とともにふりかえります。



▲木曾村・根岸村
合併縮図



▲相原村

関連イベント

- 記念講演会**
11月9日(日) 午後2時~午後4時
(演題)「神奈川県地租改正事業と地引絵図」
(講師)奥田晴樹氏(立正大学文学部教授)
- まちだを歩く - 忠生地区・堺地区編 -**
10月26日(日)、11月16日(日)、
11月23日(祝・日)の3回を予定
(詳細は『広報まちだ』10月1日号に掲載予定)
- ギャラリートーク**
毎週土曜日 午後2時~(1時間程度)

問い合わせ 自由民権資料館 ☎734・4508

町田市民文学館ことばらんど 2014年度秋の展覧会

芥川賞作家

美術家

尾辻克彦 × 赤瀬川原平 — 文学と美術の多面体 — 展

1984(昭和59)年に市内に居を移して以来、現在に至るまでの約30年間を町田で暮らす芥川賞作家・尾辻克彦こと、美術家・赤瀬川原平(1937年~)。この間に発表された代表的な仕事には、カメラを片手に路上観察をしながら発見した〈超芸術トマソン〉〈路上観察学会〉や、あるいはベストセラーとなった著書「新解さんの謎」、流行語大賞を受賞した「老人力」などがあります。

本展は、作家・尾辻克彦/美術家・赤瀬川原平の〈ものの見方・考え方〉を小説やエッセイ、美術作品を通して追体験することにより、この希代の創造者のユニークな発想の一端を解き明かそうと試みるものです。

- **会 期** ■ 10月18日(土) ~ 12月21日(日)
- **会 場** ■ 町田市民文学館ことばらんど 2階展示室
- **開館時間** ■ 午前10時~午後5時(毎週金曜日は午後8時まで)
- **休 館 日** ■ 毎週月曜日・毎月第2木曜日(ただし11/3、11/24は開館)
- **入 場 料** ■ 一般:400円 65歳以上・大学生:200円 ※高校生以下無料
(ただし10/18、10/26、11/3、12/21は入場料無料)

▶赤瀬川原平
「天日本零円札」



問い合わせ

町田市民文学館 ☎739・3420

※展覧会会期中、関連イベントを多数開催します。

詳細は町田市ホームページ(文化・スポーツ > 文化芸術情報 > 文化施設 > 町田市民文学館 ことばらんど)をご覧ください。

これは村境と共有地の利用方法をめぐって発生した争論に関する絵図です。江戸時代、共有地は入会地と呼ばれていました。ここは落ち葉などの自給肥料、牛馬の飼料、薪や炭といった燃料の供給地として、人々の生活に欠くことができない重要な場所でした。慶安4(1651)年10月、小山村から大沢・鏝水両村に対して訴えが出され、三か村による問題解決のための話し合いが行われます。しかし、それぞれが権利を主張しあって解決せず、32年後の天和3年(1683)ようやく三か村が同意します。通常、境界争いの場合、関係する村の代表者が幕府からの裁許状(判決文)に署名押印することにも、



▲天和3年小山村・大沢村・鏝水村野論裁許絵図

連載

町田市歴史の1コマ

天和3(1683)年5月

小山村・大沢村・鏝水村野論裁許絵図

境界を具体的に確認するため絵図を作成しました。こうした絵図は重要な証拠書類として大切に保管されました。

連載

遺跡が語る土地の記憶

相原坂下遺跡(相原町)



▲相原坂下遺跡の調査地



▲発掘調査中の相原坂下遺跡

相原坂下遺跡は現在の町田街道、相原三叉路から相原交差点の道路改良工事に伴い、1978~1979年に調査が実施されました。それまでの町田街道は国道16号と変則的な交差をしていました。また、中期勝坂式期の優れた装飾の土器が出土しています。古墳時代の後期では17軒もの住居跡が確認されています。

調査の結果、旧石器時代・縄文時代・古墳時代の集落跡が発掘されました。縄文時代では中期主体の住居跡が10軒以上確認されています。